



## \*\*\*\*\* 分科会・研究会情報 \*\*\*\*\*

### JEMS・BMS研究会活動報告

#### ■幹事選挙

幹事の任期満了に伴い、インターネット投票による幹事選挙を実施した。その結果、川上久美子会員、千蔵さつき会員、羽倉昌志会員、藤本透会員、古濱彩子会員、山田雅巳会員、山本美佳会員（五十音順）が新幹事に選出され、幹事の互選により藤本会員が会長に選出された。会長が庶務幹事に須井哉会員を、会計幹事に皿田巳子会員を指名し、第72回BMS定例会の総会において報告された。また、倉上真樹会員を会長指名幹事とすることを幹事会にて承認した。

#### ■精度管理試験

第11回精度管理試験について、BMS定例会で結果の報告を行った。

#### ■共同研究

「3菌株（TA97, TA97a, WP2uvrA/pKM101）のAmes試験データの収集に関する第2回共同研究」で収集した弱いAmes陽性物質について、各施設が保有する背景データを用いて解析を行っている。第71回定例会では、総合的に「TA97, TA97aおよびWP2uvrA/pKM101において、変異原性を評価する際、用量依存性をエキスパートジャッジ、コロニー数増加の有意性をその施設のupper 2 x SD（standard deviation）もしくは99%UCL（upper confidence limit）によって解釈、結論する手法が有効であり、各施設の習熟度および背景データは、解釈、結論の信頼性を高めるために重要である。」と結論（仮）付けた。

第72回定例会では物質01および02のデータについて2倍法、upper 2 x SDあるいは99%UCLの各評価方法を用いた際の適合性や菌株の特徴を考察し、結果を報告した。引き続き物質03以降の化合物についても詳細解析を行う。

#### ■BMS Pilot Study

Ames試験菌株のゲノム遺伝子変異のロット間バリエーションを調べることを主目的として、第9回精度管理試験の結果をもとに選んだ4施設から提供された、TA100株の4ロットについて全ゲノム解析を実施した。全ゲノムシーケンシングと変異解析結果について、第70回定例会において中間報告を行い、JEMS第53回大会にてポスター発表した。

第72回定例会では、当該4施設から提供されたTA100株について同一施設内で陽性対照AF-2のAmes試験を実施した結果を紹介し、ゲノム遺伝子変異のバリエーションと変異原性物質に対する感受性の関係性を議論した。

#### ■BMS研究会第72回定例会

日本環境変異原ゲノム学会BMS研究会第72回定例会が7月25日（金）～26日（土）に横浜テクノタワーホテルで開催された。総会では、2024年度の会計報告が承認され、新会長・新幹事が報告された。

初日のプログラムでは、峯川会員から「精度管理試験中間報告」が報告された。また、「3菌株（TA97, TA97a, WP2uvrA/pKM101）のAmes試験データの収集に関する共同研究」について、井上陽子会員から報告された。羽倉会員から、「BMS Pilot Study: Ames 試験菌株の全ゲノム解析」についての報告があった。鈴木優衣会員より「前培養条件の検討方法」の研究発表がなされた。千蔵会員から、「Ames試験の温故知新」として過去のJEMS特集号からのトピック紹介およびBMSに寄せられたQ&Aについて紹介された。翌日のプログラムでは、教育講演としてBMSアドバイザーの加藤雅之先生から「Ames試験結果を評価する“生育阻害、析出（沈殿）、復帰変異コロニー数（微小コロニー）”」と題した講習が行われた。千蔵会員から「Ames試験に関連する学会・ガイドライン関連情報共有」についての話題提供があった。参加者は非会員を含め57名であり、懇親会後にはフリーディスカッションの場が設けられ、盛況であった。

## JEMS・MMS研究会活動報告



### MMS 研究会第 86 回定例会

日本環境変異原ゲノム学会 MMS 研究会は 2025 年 6 月 2 日(月)から 3 日(火)に大分県日田市 はなの樹 RIVER TERRACE にて第 86 回定例会を開催した。今回は一般財団法人化学物質評価研究機構(CERI) 藤島幹事が世話を務め、参加者は演者らも含めて 57 名であった。

初日に総会が行われ、会員数の動向に加え、MMS 研究会会則変更提案および MMS 研究会幹事選挙結果が報告された。また、2024 年度の会計報告が承認され、年会費滞納者の問題や会費の有効活用の課題等が報告された。

2 日間の主要なプログラムは以下の通りであった：(1)共同研究進捗報告、(2)招待講演①：CERI 赤堀先生による NAMs に関する国際動向、(3)グループディスカッション：遺伝毒性の評価や試験に関する技術継承や後進の育成方法について等、(4)IWGT2026 トピック紹介・GTA 2025 参加報告、(5)招待講演②：崇城大学 石田先生による肝細胞の 3 次元培養と MPS の技術開発で病態解明や創薬を支援する。加えて懇親会では自社ラボ紹介が行われ、夜は恒例のナイトセッションを開催した。自社ラボ紹介では、3 社より施設や研究内容が説明された。ナイトセッションは前国立医薬品食品衛生研究所長 本間先生より、次世代へのメッセージの提示があった。

定例会終了後、新旧 MMS 幹事らが集まり、各担当業務の目的や概要についての引き継ぎや、第 87 回秋の定例会プログラムおよび第 88 回春の定例会開催場所について協議した。なお、MMS 新幹事は、会長 橋本清弘(武田薬品工業)、庶務幹事 小山直己(中外製薬)、会計幹事 松村奨士(花王)、藤島沙織(CERI)、福田隆之(ボゾリサーチセンター)、千蔵さつき(Axcelead Tokyo West Partners)、津田雅貴(国立医薬品食品衛生研究所)が就いた。また、定例会参加者に対して実施した開催後ウェブアンケート調査(回答率 86%)の結果、参加者は定例会の会場や内容に概ね満足されている傾向が伺えた。さらに、アンケートでは、今後 MMS 研究会で取り上げて欲しいトピックを挙げてもらったため、それらの要望に基づいて今後の MMS 研究会活動を推進していきたい。

### ■第 87 回 MMS 定例会開催予定

例年通り日本環境変異原ゲノム学会大会前日に開催する。

日時：2025 年 11 月 21 日(金) 評議員会終了後

場所：静岡県立大学 (<https://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/guide/access/>)

参加費：無料

プログラム：MMS 共同研究進捗報告、招待講演他

(文責：MMS 庶務幹事 小山 直己)

## 変異機構研究会「第36回夏の学校」ご案内

変異機構研究会「第 36 回夏の学校」を次の要領で開催いたします。参加申込期日は過ぎましたが、状況によりましては、まだ受付可能な場合がございます。参加申込みされておられない方は是非一度下記事務局までお問い合わせください。今年の会場は東京都八王子市です。多くのみなさまの参加をお待ちしております。

記

変異機構研究会「第 36 回夏の学校」

日時：2025 年 9 月 6 日（土）13 時から 9 月 7 日（日）12 時  
大学セミナーハウス（〒192-0372 東京都八王子市下柚木 1987-1）

<https://iush.jp/>

（JR 八王子駅南口よりバス約 30 分）

会費：一般；16,000 円，

学生；6,000 円

【特別講演】

「恐竜を祖先に持つ天然記念物「矮鶏」の致死遺伝子の秘密：  
身近な生き物の謎解きは DNA 修復と病気や進化の謎に迫れるか」

小池 学 先生（量子科学技術研究開発機構）

「最強生物クマムシの耐性全容解明に向けたゲノム編集」

国枝 武和 先生（兵庫県立大学）

【特別企画（JEMS 連携企画）】

「企業研究者に聞く！」

福田 隆之 先生（株式会社ボゾリサーチセンター東京研究所 研究部）

萩尾 宗一郎 先生（日産化学株式会社）

特別レクチャー

「肝臓小核試験法の開発 ―肝発がん物質を検出する―」

濱田 修一 先生（株式会社ボゾリサーチセンター東京研究所 研究部）

企業研究者と研究職志望者の情報交換会

【一般講演・総合討論】

参加ご希望の方は、1 氏名とフリガナ、2 性別(部屋割りのため)、3 年齢、4 所属（職階または学年も）、5 連絡先住所・e-mail アドレス・TEL・FAX を、至急、下記事務局（椎崎）宛にご連絡ください\*。

一般講演（講演 10 分、質疑応答 5 分（予定））も募集いたしますので、発表を希望される方はあわせてご連絡下さい。

\*申込内容確認後、事務局から受付完了のメールを差し上げます。受付完了メールの届かない場合は椎崎まで必ずご連絡ください。

問合わせ・参加申込先（事務局）

〒351-8510 埼玉県朝霞市岡 48-1 東洋大学 生命科学部生命科学科

椎崎 一宏

Phone: 048-468-6835 Fax: 048-468-6841

申込、問合わせ E-mail: shiizaki@toyo.jp

世話人：赤沼 三恵，伊吹 裕子，勝崎 裕隆，川西 優喜，倉岡 功，笹谷 めぐみ，椎崎 一宏，中村 宜督，鳴海 一成，布柴 達男，平津 圭一郎，増田 雄司，八木 孝司，山田 雅巳

研究会ホームページ：<https://www.j-ems.org/groups/heni.html>

以上

（変異機構研究会 川西 優喜）